

黒い禊ぎ

Kiryu Shin
桐生 慎



神ダリーと

言われる現象がある。

沖繩や奄美周辺では

日常的に使われる。

狐憑きならぬ

神憑きである。

およそ災厄としか

言えないこの現象は

現在でもある。

この物語は、

神ダリーにより

呪詛と戦わざるを

得なくなつた

市井の人物達の

物語である。

私のホームページは、特異

な人々の間では有名でした。

歴史好きで本当の霊感が

ある人々です。本当に霊能

力がある人々は苦心して、

その身を市井の中に隠す

ものです。怪談なんか絶対

にしません。大抵の怪談話

は彼らにとつて、当たり前

の日常で恐怖など感じな

いのです。

ホームページで連載を始

めたとたん、それらの人々

から多くの励ましのメール

を頂きました。「神ダリー」

をよくぞ書いてくれたと

いうものばかりでした。私

はこれほどに「神ダリー」に

苦しむ人がいたのかと驚き

ました。

(「あとがき」より)

四六判・上製・280頁 定価1,575円(税込み)

注文書

書店印

注文 冊

新刊

文芸社

桐生 慎・著

黒い禊ぎ

ISBN978-4-286-10299-3 C0093 ¥1500E

定価 1,575円

(本体1,500円+税5%)